

第 57 号

みちあんない

介護老人福祉施設

ユンニ
こもれびの家

令和8年10月1日発行

特別養護老人ホーム
ユンニこもれびの家
施設長　玉村 仁一

発行元　サービス提供委員会
〒069-1203
夕張郡由仁町東栄86番地
TEL0123-82-2222

目　次

百寿のお祝い

もも・しらかばユニット

さくら・かえでユニット

もみじ・こぶしユニット

くるみ・かしわユニット

編集後記

～由仁町で100歳の長寿表彰式～



9月24日、由仁町の課長と職員が来訪され、100歳を迎えた岡山千津子様の表彰式が行われました。
当日はご家族も駆けつけ、温かい拍手に包まれた素敵なひとときとなりました。





ご家族の介護にお悩みの方や、施設利用・入居を検討している方がいらっしゃいましたら、当施設にご相談ください。
些細なことでも構いません。担当スタッフが承ります。
＊平日　9:00～17:00
（平日にご都合がつかない際はご相談下さい）
＜担当＞　玉村（施設長）・山本（相談員）



Your Partner

もも・しらかばユニット

ジンギスカンパーティー









8月26日今日は待ちに待ったジンギスカンパーティーの日です。室内でホットプレートを使ってのジンギスカンですが、ホットプレートを目の前にしていつもと違う雰囲気の昼食に何が始まるのか、何を焼くのかワクワクします。ジンギスカンのお肉はもちろん、もやし、玉ねぎ、かぼちゃをどんどん焼いていきます。

















ちょうどいい感じに焼けると、そのまま食べる方、一口にカットする方、もっと細かく刻む方、それぞれのご利用者の食事の形態に合わせて提供します。皆さん言うまでもなく幸せそうにジンギスカンを堪能してらっしゃいました。ここでちょっと裏話です。
ジンギスカンパーティーなんですが実は一番人気はお肉ではなく
・・かぼちゃ・・何故かかぼちゃが大人気のユニットでした。














さくら・かえでユニット

ジンギスカン
パーティー















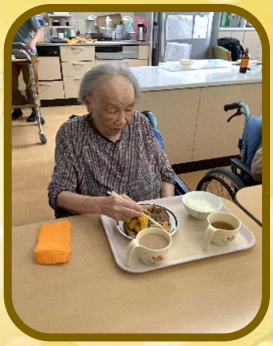




利用者様が楽しみにしていたジンギスカンパーティーを開催しました。香ばしいお肉の匂いが広がる中、笑顔と笑い声があふれるひとときとなりました。「昔は家族でよくやったんだよ」そんな思い出話も飛び交い、心もお腹も満たされる時間に。ゆったりとした時間を過ごされました。皆さんの笑顔に職員一同元気をいただきました。

もみじ・こぶしユニット






ジンギスカンパーティー

当日は、室内がジンギスカンの香ばしい匂いが広がる中、皆様でお肉や野菜を普段とは少し違った雰囲気で食事を楽しまれました。「いい匂いだね」「おいしいね」と職員やご利用者様同士で会話を楽しまれ、自然と笑顔がこぼれるご様子が多く見られました。

食事は栄養を摂るだけではなく、誰かと一緒に味わい、会話を楽しみ、地元の食文化を感じる大切な時間でもあります。今回のジンギスカンパーティーが、皆様にとって楽しい思い出のひとつになっていれば嬉しく思います。

これからも「こもれびの家」では、ご利用者様の笑顔や「またやりたい」というお気持ちを大切にしながら、日々の暮らしの中に楽しみや季節を感じていただける行事を企画してまいります。



















焼いたカボチャや玉ねぎはどちらも甘くおかわりをされる
方々もいらっしゃいました。










かしわ・くるみ
ジンギスカンパーティー









8月25日ジンギスカンパーティーが開催されました。皆さん「おいしい！」と大絶賛でした。一部から「羊は、ちょっと」との声もあったとか、なかったとか・・・来年こそは、外でご家族様と出来たらいいなーと切に願っています。







～日々の様子～





ある日の夏の事、山崎様のご家族さんが「皆さんでどうぞ」と大きな大きなスイカを持って来てくださいました。利用者さんと職員で美味しく頂きました。ありがとうございました。　来年も待ってますね！笑

３Fで実施ているYouTube体操の様子です。

流すのはもっぱら「青空体育」さん！

普段の様子からは想像しにくいご利用者さんでも歌を口ずさんだり、体を動かしたりと、職員として凄くうれしく思いパシャパシャと撮ってしまいがちです。　これからも日々の様子を撮りためていきます！



山崎榮松様















編集後記

いつも「こもれびの家」の運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
今回の冊子も、ユニットでのレクリエーションや毎日の体操など、日々の暮らしの中には、たくさんの笑顔と小さな喜びがあります。何気ない会話や笑顔、職員とのふれあい。その一つひとつが、ご利用者様にとって大切な「今日」の一部になっています。
私たち職員が日々の生活を支えられるのも、ご家族様の温かいご理解とご協力があってこそです。面会に来てくださること、電話やお手紙で気に掛けてくださること、そして遠くからでもご利用者様を想い続けてくださること。そのお気持ちを私たちは決して当たり前のこととは思っておりません。
施設で過ごされるご家族様の姿を直接見ることができない時間にも「今日は元気に過ごしているだろうか」「笑って過ごせているだろうか」と、きっとさまざまなおもいを寄せてくださっていることと思います。この冊子が、そのようなお気持ちに少しでも寄り添い、こもれびの家で過ごされている時間を身近に感じていただくきっかけになれば幸いです。
詩人の谷川俊太郎さんの言葉で「支えてくれる手のぬくみ」（詩「ただ生きる」に登場する一節です）という意味合いや響きはご利用者様の毎日も、たくさんの人の温かな手と想いに支えられ、ご家族様からいただく愛情も、生きる中で大切なぬくみの一つです。

これからも私たちは、ご家族様から託された大切な想いを胸に、ご利用者様お一人おひとりの人生に寄り添い、安心して笑顔で過ごせる毎日を大切にしてまいります。

